

野良猫問題は猫の問題ではなく人が大きく関わっている事

ケース①外で暮らす猫の場合

クローバーHPからプリントした野良猫問題のチャートをご覧ください
野良猫が増えて行く典型的な例が書いてあります

飼えなくなった猫がいきなり 20 匹外に出された相談を受けた事もあります
飼えないと外に出された猫。その猫が外で繁殖して生まれた猫が野良猫と言われます
猫がいる地域の誰かが捨てた猫です。そのため地域で問題を解決する事を地域猫活動と言います

猫がかわいそうだと思う人が餌のみを与えて可愛がる、もしくは猫が迷惑だと思う人が
野良猫に餌を与える事を絶対に許さない場合、野良猫問題は解決に向かいません。
餌を与える事を許さなければ隠れて餌を与えるようになり野良猫は増えて
行くばかりです。また餌を与えるだけで避妊去勢をしなければ猫の数は爆発的に増えてい
きます。
猫に餌を与えるなど言うのではなく T N R を勧める事が大切です

野良猫がいる地域住民の大半は野良猫に関して無関心な人が多いです
問題が大きくなるのは、野良猫が可哀そうだと思う人と野良猫に迷惑している人の対立
が大きくなる場合です。野良猫がいなくなれば良いと思うゴールは双方で同じはずです
対立するのではなく
双方が歩み寄れば間違いなく野良猫問題は解決していきます
T N R 活動、地域猫活動は野良猫のいる環境や地域住民の考え方で T N R のやり方は大
きく変わって行きます様々なケースがありますので個別にご相談ください

ケース② 飼育崩壊と多頭飼育崩壊

10 年ほど前に 36 匹の多頭飼育崩壊に入った事があります
多頭飼育崩壊はメディアで多く取り上げられます。そして多頭飼育崩壊はごみ屋敷と同
じくくりで特別な事のように報道されますが一匹でも飼育崩壊で、多くの飼育崩壊は数
匹の飼えなくなった犬と猫の場合がほとんどです
決して特別な事ではありません。

36匹の多頭飼育崩壊の猫たちは荒れ果てた室内で暮らし体調の悪い猫が多くいました。半年間、片道1時間をかけて私と友人5人で猫の住む家へ通い猫たちのお世話をしましたが本当に大変でした

脳出血で仕事中に倒れた飼い主さんは一命をとりとめました
もし亡くなっていたら36匹の猫の医療費、消耗品の代金と猫の命は全て私に託され
私は36匹の猫を引き取り愛護活動はここで終わっていたと思います

猫たちは室内繁殖した訳ではなく全ての猫は避妊去勢が済んでいました
野良猫の多い地域に住んでいてご自身が保護した猫と、
『あの家に持って行けば猫を保護してもらえる』とご近所から持ち込まれた猫たちで
36匹になりました。飼い主さんは猫たちを、とてもかわいがっていましたが36匹の
猫は多すぎてすべての猫に目が行き届かず室内は荒れていきました

猫を36匹飼う人はどんな人なのか？退院し自宅に戻った飼い主さんと話しました

飼い主さんの生活環境の変化から猫の数が増えて行きます
父親、母親、飼い主さんの3人家族でくらしていた頃、猫の数は2匹でしたが
父親が施設に入り猫の数は6匹に増え父親が亡くなり母親が施設に入ってから猫の数は
一気に増えて行きました。飼い主さんは、

一人過ごす家は怖く寂しく猫が増えて行く毎に寂しさが消えて行くと
話してくれました。36匹も猫を飼った事に無理があったと認めてくれました
誰にでも起こり得る事のように感じました

飼い主さんが入院中の話をしてくれました
脳出血で倒れた飼い主さんは話せなく体が全く動かせませんでした
意識はしっかりあったそうです

それを知らない親戚が病室に来た時に枕もとで話をしました
『こんなになっちゃって』と言いながら動かない腕を、もて遊ぶように動かしながら
話を続けたそうです
『どこか遠くの安い施設に預けてしまおう。母親の遺産もこの人の遺産も全て私たちの
物になるね』笑いながら話していたそうです
飼い主さんは絶対に死ねないと思ったそうです

退院後、自宅に帰った飼い主さんはすぐに保険会社に連絡を取り遺言書を書き猫たちに財産を残す手続きをしました。36匹の猫たちは数匹を飼い主さんの元へ残し残りの猫たちは私と飼い主さんが協力をして全ての猫を幸せへ送り出しました

静岡市ボランティア名簿に電話番号を載せていた時に、
民生委員、総合病院、施設から飼えなくなった犬猫の相談が多く入りました
生活保護を受けている人や財産のある人。犬と猫を飼えなくなる理由は様々です

年老いた独居の母親が可愛がっていた老犬。
飼い主が先に亡くなり残された犬。子供たちは財産はもらうが犬はいらないから処分してほしいと言われ犬が可哀そうだと相談が多く来ました
親が大切にしていたペットにそんな事が出来る気持ちが私には一切分かりませんが、
そんな現実も多くあります

少子高齢化が進み今後、飼育放棄される猫と犬は増えて行くと考えられます
費用と労力を使いそれを助けるのはペットが可哀そうだと思う個人とボランティアです
優しい人に会えないペットは殺処分になる事でしょう

静岡市は南海トラフの心配もあります。ペットが飼えなくなる事態は高齢者以外にも起こり得ます

ペットを飼う全ての人がある生涯に責任を持つは不幸な犬と猫はいなくなるはずですが
皆さんのペットが、その生涯を幸せに暮らせるように。そして余力のある人は
ご自身のやりたい愛護活動を見つけて無理なく動物愛護に参加して頂けたら
心強いです

何から愛護活動を始めたら良いか迷う方は譲渡会のお手伝いに来て頂き
ご自身のやりたい活動を見つけて下さい。譲渡会のお手伝いは公式HPのお問い合わせ
フォームからお申込み下さい

まだ準備途中ですが公式LINEを始めます。準備が整い次第、発信して行きますので
興味のある方はお友達登録をお願いします

講習の事、講習以外でも質問がある方はHPよりお問合せ下さい